



責任という合意

令和8年1月20日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

正しい現実の育成は、正しい価値観の共有において与えられる。これらは組織の育成は正しい意欲とその健全性において現実を可能とでいることを意味するものです。

これらはリーダーがその正しい自己と現実を求めることは、現実の育成においてその責任の履行を求めるのである。

これらは正しい意欲の形成とともに現実の健全化を与えるものである。それらは高い倫理性の共有において優れた現実の育成を与えることができるのである

これら絶対的な現実の健全性は、正しい場の構築であり、それらに同意する優れた人材がその新たな可能性の具現を与えるのである。

これらが創造性とともに正のサイクルの形成し、サステナブルという未来の実現を与えることができるのである。

これらにおいて組織におけるコンセンサスは、時代性などにおいてその自己の許容を可能とし、その実現を得ることができるのである。

他方においてはその対極が存在する。リーダーの欺瞞がそれを与えるのである。

これらは、リーダーは常に現実への責任を求め、正しい現実の育成をその義務とするのである。

これらは、自己においてその正しい場を求めるものは正しい存在であることを留意したい。組織はそれにおいてその合意を自己とするのである。

これらが健全な結果を生み出して未来の実現を得るものである。それらは現実の正しいサイクルの育成であり、その結果を有するのである。